

平成17年度「目標チャレンジ」表彰課所

【優秀賞】県営取手競輪事業の収益の確保（自転車競技事務所）

目 標 数 値 等	実 績
①記念競輪の売上82億円以上 ・前回(H15年度)売上げ：71億円	94億1,786万円（収益は4.9億円） ※H17年度総売上額も前年同期比で18.3%増
②取手場での場外発売日数の拡大 ・前回(H15年度)：112日	322日発売
(表彰理由) ○ 記念競輪の売上高は目標を超え、前回比で約23億円(32.6%)増、場外発売日数も目標の3倍まで拡大。 ○ 収益向上のカギとなる場外発売場、専用場外での販売を拡大するため積極的に交渉を行い、前回の25場から62場に大幅増とした。 ○ マスコミに直接訪問してPRを行うなど、所属長以下全職員が一丸となって目標達成に向けて取り組んでいる。	

【優秀賞】桜の郷みなみ台の宅地販売の推進（高齢福祉課桜の郷整備推進室）

目 標 数 値 等	実 績
第2期宅地分譲50画地の完売 1次：16画地(H17.9～) 2次：24画地(H17.12～) 3次：10画地(H18.3.4～)	分譲開始50画地のうち49画地を売却見込み ※第1期、2期計110画地を完売見込み
(表彰理由) ○ 目標の第2期分50画地を完売見込み。また第1期分の残り15画地も完売。 ○ 全国的にも画期的な制度である”事業者（7社）が100%引き取る「責任引取制建築条件付き販売」”を導入するなど販売も工夫。 ○ 職員によるアパートや社宅への広告投函などPRの工夫、来客者への電話等による事後フォローなど相当に努力。	

【努力賞】月別資金計画の精度向上，歳計現金等の一時借入金削減(出納第一課)

目 標 数 値 等	実 績
①一時借入金の日最高額を100億円以内に抑制	一時借入(金)無し
②月単位の乖離の最高値を収入・支出それぞれ10%以内に縮減	収入で+13.4%(10月), 支出は▲7.0%(11月)
(表彰理由) ○ 「10年ぶりに一時借入金無し」となる見込み。また月単位の乖離は、収入で目標から3.4ポイント離れたが、収支バランス上はプラスを維持。 ○ 収支計画の精度向上のため、支払審査段階での大口支出のチェック等を行うなど課全体で取り組んだ。 ○ 経理担当職員，事業担当者に，県の収支やキャッシュフローを強く意識させることで経営感覚向上を図った。	

【努力賞】水戸浄水場の那珂川からの取水に係る動力費(電力費)及びCO²の削減(企業局施設課，県中央水道事務所)

目 標 数 値 等	実 績
①動力費の削減額：年間約1,280万円	約1,316万円削減(H17.8月～3月の8月間) ※電気削減量：約1,285千kw/h(一般家庭357軒分)
②CO ² 削減量：年13%削減(H15比)	約52%削減
(表彰理由) ○ 動力費を年額換算で約2千万円削減できる見込み(目標の1.5倍)。CO ² 削減量も目標を大きく上回る4倍(従来方式の半分)にまで削減。 ○ ひたちなか市との合同取水による動力費削減(ポンプの停止)を8月には実現しており，本庁・出先の職員が一緒になり目標達成に相当努力。	

【努力賞】求人求職のマッチングの向上(就職支援センター)

目 標 数 値 等	実 績
①利用者数40,000人 H16：25,884人	42,000人見込み(H18.2末現在：38,551人)
②利用者のうち就職できた人数1,500人 H16：668人	1,500人見込み(H18.2末現在：1,353人)
③インターンシップ実施人数500人 H16：281人	500人(H18.2末現在：学生375人)
(表彰理由) ○ 積極的なPR活動を展開することで，利用者数が目標を大きく上回る見込み。 ○ 新規に1,500事業所を開拓するなどによって，就職者数の増に結びつけている。 ※H18.2末時点での就職決定者1,353人のうち県が直接677件について就職先を紹介し244件で就職決定(H16年度同期は140人)	

【継続努力賞】 用地取得率アップ大作戦（用地課）

目 標 数 値 等	実 績
①用地難航者の3割解決 H16：27%	40%（92件のうち37件解決見込み）
②重点箇所での3割解決	33%（15路線中5路線解決）
③強化路線目標工区数の8割達成 H16:86%	84%（19工区中16で達成見込み）
（表彰理由） ○ 前年度より高い目標を設定し、本庁・出先が連携して目標解決に継続して取り組み、何れの目標も達成できた。 ○ 目標チャレンジのPRを組織をあげて行うなど、継続して困難な事案解決に向かっていく強い姿勢がある。	

【継続努力賞】 児童の学力向上の推進（義務教育課）

目 標 数 値 等	実 績
①50冊の本を読んだ児童数35%以上 H15：19.6%，H16：25.8%	40.4%（35,308人）
②小4から通算300冊の本を読んだ児童750人以上 H15：178人，H16：352人	911人
③「全校一斉の読書活動」に取り組む小学校数100% H17.5月：98.3%（567校）	100.0%（577校）
（表彰理由） ○ 本庁・出先、教員が目標達成に向けて一体となって取り組み、何れの目標も達成する見込み。 ○ 「全国一斉の読書活動」に取り組む小学校数の目標達成については、継続して相当の努力をしたと認められる。	